

猿橋
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

巣立ちのとき

校長 磯部 裕之

まだまだ寒い朝もありますが、気が付けば、朝は早くから明るくなり、風の匂いにも春を感じるようになりました。季節は、確実に春へと向かっています。

時の流れは本当に早いもので、この便りが配達される3月21日は3学期の終業式、そして3月22日は今年度を締めくくるとなる卒業式となります。

朝の時間帯、各教室から子どもたちが「今月の歌」を歌う声が聞こえてきます。3月の歌は「大空がむかえる朝」（あだちやえ作詞／浦田健次郎作曲）。以前は、卒業式で歌われていた歌です。

あの大空が むかえる朝
巣立ちゆく 白い鳥
風を受けて 光る
おめでとう おめでとう
すばらしい日だね
つばさ広げたすがた 目にしみる



今年度は、卒業式でこの歌が歌われる場面はありませんが、毎朝、教室で歌いながら在校生（1～5年生）は心の中で6年生の卒業を祝ってきました。そんな思いを受けて、6年生は、卒業式の練習に真剣に取り組んできました。証書を受け取る所作一つでも、「返事」「目線」「礼」「証書の受け取り」「回れ右」など複数の動作が入ります。練習に臨む子どもたちの表情は、真剣そのものです。その緊張しながらも真剣に望む姿勢や態度からは、これまでの感謝の思いを自分たちの姿で伝えるんだという意気込みが伝わってきます。間違いなく、明日はすばらしい式になることでしょう。

行事をとおして大きく成長するのは、6年生だけではありません。在校生を代表して卒業式に参加する5年生も、当日は参加しない1～4年生も、この卒業・進級という節目に、大きく成長します。一年間かけて立派に成長し、大きくつばさを広げた姿をしっかりと目に焼き付けたいと思います。そして、4月からの新たなステージでのそれぞれの挑戦を全職員で応援してまいります。

今年度、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、子どもたちは安心して自分の力を伸ばすことができました。心より感謝申し上げます。今後とも、手を携えて、子どもたちの成長をともに支えてまいりましょう。